

1 ねらい

本校の児童数は、数年前の166名から現在、79名まで減ってきている。以前から児童数の減少による学校存続の危機もあり、子どもたちに地域のひと・こと・もののよさを体験活動の中で理解させ、地域を愛し、地域の将来を担う児童を育てようと考えてきた。

この年の6年生も、17名の内の13名が花園団地で、いわゆる地元の子は、恵田が3名、駒立が1名と少なく、子供たちの多くは、学区に住んでいても地元の人や自然、ものにふれる機会が少ない。

そこで、恵田学区の特色ある産業「ブドウ」「コンニャク」「自然薯」の栽培を、地域の先生のご指導を得ながらする栽培体験を通して、地域を愛し、地域の将来を担う児童を育てたいと考え実践した。

2 実践の概要

恵田学区の特産物である「ブドウ」「コンニャク」「自然薯」の栽培だけでなく、加工、販売、料理についても、地元の人々に教えていただいて体験していく。その中で、地元の人々の知恵や工夫、苦労や努力に気付いたり、優しさや温かさに触れたりして、これまで以上に親しみがわき、地域への愛着心を高めることができるようにしたい。また、特産物の収穫や料理によって自然のありがたさや地域のよさを感じ、地域を愛し、守っていこうとする心情をはぐくむことができるようにしたいと考え、地域の人々を学習支援講師として協力を仰いだ。

(1) 地域の先生に目標をはっきり伝える

ア 学区の特産物について調べ、積極的に体験活動に取り組もうとする。

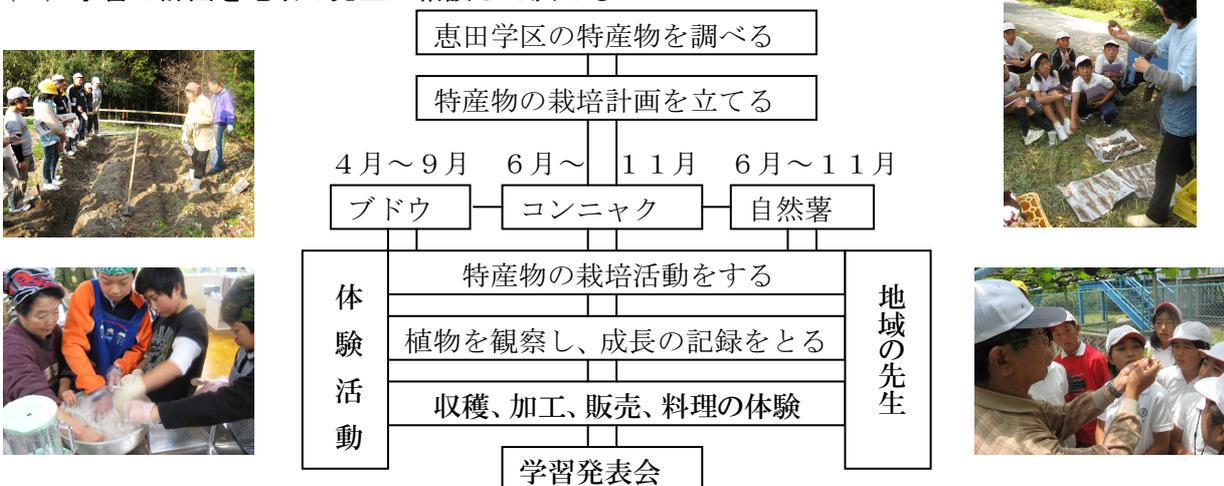
イ 地域の先生から学び、共同作業で特産物の栽培から料理までの活動を行うことができる。

ウ 学区の特産物の栽培活動を通して、学区の自然のよさが分かり、大切に守っていこうとする心をはぐくむことができる。

エ 栽培・収穫・加工・販売・料理活動を通して地元の人々とふれ合うことで、知恵や工夫、苦労や努力が分かり、地域への愛着心を高めることができる。

オ 特産物の栽培から料理までの体験活動を通して、分かったことや感じたこと、学んだことを下級生や地域の人々に発表し、地域全体に伝えることができる。

(2) 学習の計画を地域の先生に相談して決める



(3) 地域の先生に教わって行ったブドウ栽培活動

昭和61年に地元の方からブドウの木の苗をいただいて作った、校庭のブドウ棚を使ってスチュー

ベンを育てた。地元（駒立）のブドウ園経営の地域の先生2人に、栽培活動の先生と調理活動の先生を担当していただき体験活動を行ってきた。

【ブドウ栽培・調理の体験活動】

- 4月 ブドウ園の観察・・・枝や芽の様子、周囲の草刈り
消毒（地域の先生に依頼）
 - 5月 成長の観察と作業・・・芽の伸び具合、花の観察
枝や芽の誘引作業
 - 6月 栽培作業・・・摘粒、消毒（職員に依頼）、袋かけ
 - 7月 栽培作業・・・害獣防御ネット張り（職員に依頼）
消毒（職員に依頼）、草刈り、観察
 - 8月 栽培作業・・・草刈り、観察
 - 9月 収穫作業・・・ブドウの初狩り会（全校児童・職員・
地域の先生・地元の方・保護者）
ブドウ棚の整理、片付け
 - 10月 調理作業・・・ブドウジュース・ゼリーづくり
やまびこ学習（総合）の記録整理、
 - 1月 栽培作業・・・枝の剪定、肥料（地域の先生に依頼）
 - 2月 体験学習の発表・・・やまびこ学習発表会
- （4）地域の先生とこんにやく芋・自然薯の栽培と料理体験
地元には、ブドウ以外に、秋はこんにやく芋、自然薯、冬はセンリョウを栽培している農家もあり、講師をお願いした。

4月に地域の先生からコンニャクの花が届き、その観察から始まった。細長い形で、強烈な臭いがするコンニャクの花をみんなで囲んで観察した。6月に畝作りして、コンニャク芋と自然薯の種芋を植える前に、その色や形を観察した。地域の先生の提案で、収穫時の成長の記録を取るために、植える前のそれぞれの長さや重さも測定して記録に残した。その後、つるの支えづくり、草取りなども指導を受けて行った。

11月には、地域の先生とともに収穫し、多くの自然の恵みに歓喜の声が上がった。収穫したコンニャク芋と自然薯は、すべて計測し、成長の大きさを確認して記録した。そして、地域の先生3人のご指導でコンニャク芋を加工して、おいしい手作りのコンニャクを作って食べた。自然薯もご指導を仰ぎ、とろろやお好み焼きにして食べた。残りの自然薯は、子供たちが家族のために料理することを約束して、一人1本ずつ持ち帰った。残りのコンニャク芋は収穫感謝祭に合わせてコンニャクに加工し、子供たちの手で地域の人々に販売した。

3 実践を振り返って

「地域の先生」に特産物の栽培と料理活動を指導してもらって一緒に活動したことで、地域の人・自然・産業のよさを実感し、地域への愛着をもたせることができた。団地の子も恵田学区のよさを感じ、国語の「ニュース番組を…」の学習でブドウ園を取材したり、自由研究に取り上げたりした。学習発表会でも学区のよさを発表した。今後は、地域に貢献できる活動に取り組みさせたい。



【地域の先生とぶどうの摘粒】



【ぶどうの初狩り会でぶどうクイズ】



【植え付け前の種芋の学習】



【調理してコンニャク玉を作る】



【ブドウ園で取材する児童】